

～ 第二回酪農教育ファーム北海道推進委員会が無事に終了～

2月29日(水)、第二回酪農教育ファーム北海道推進委員会が札幌市のホクレンビルにて開催されました。今回も地域交流牧場全国連絡会総会の翌日に開催され、今年度最後の会議として、活動報告や次年度へ向けた活動計画について話し合いがなされました。参加者は以下の方々です。

(会議の概要は、別紙をご参照下さい)

委員長	リバティヒル広瀬牧場	広瀬 文彦
副委員長	むらかみ牧場	村上 隆彦
委員	帯広市立第四中学校 教頭	野上 泰宏
委員	小川牧場	小川 文夫
委員	オシダファーム	押田 美恵子
委員	高橋体験牧場	高橋 育男
委員	レクランドファーム久保牧場	久保 隆幸
委員	(社)北海道乳業協会 事務局長	中山 明
委員	北海道牛乳普及協会 事務局長	小柳 敏幸
	北海道牛乳普及協会	小笠原 彩倅
オブザーバー	北海道農政部 食の安全推進局 畜産振興課 主査	鈴木 賢一
オブザーバー	北海道農政部 食の安全推進局 畜産振興課 主任	今野 徹
オブザーバー	北海道農政部 食の安全推進局 畜産振興課	佐藤 広和
オブザーバー	(社)中央酪農会議 酪農理解対策室	堀 成実

他、事務局 4 名

今年度の締めくくりの会議の様子をお伝えいたします。

開会の挨拶は広瀬委員長です



全国の活動報告をされる、中央酪農会議 堀さん



いつもは交流牧場のご担当ですが、今回他地区の会議で来られなかった三代さんに代わって出席して下さいました

北海道乳業協会のおふたりは、新しい事業に



閉会のあいさつは、村上副委員長

来年度に向けて、活動の反省と計画の方向性をしっかり話し合えました



～(社)北海道乳業協会で新たな補助事業が始まります！～

『牧場・乳業ふれあい体験事業』・・・(社)北海道乳業協会が措置している事業で、道内の学校を対象に、酪農教育ファーム認証牧場・ファシリテーターが行う体験学習に対して経費の助成をする事業です。

近日中に皆様のお手元にご案内文書が届く予定ですので、ご確認の上、是非ご利用下さい！一足先に、かいつまんでご説明いたしますと・・・

事業内容

対象者...道内の児童、生徒、引率の先生

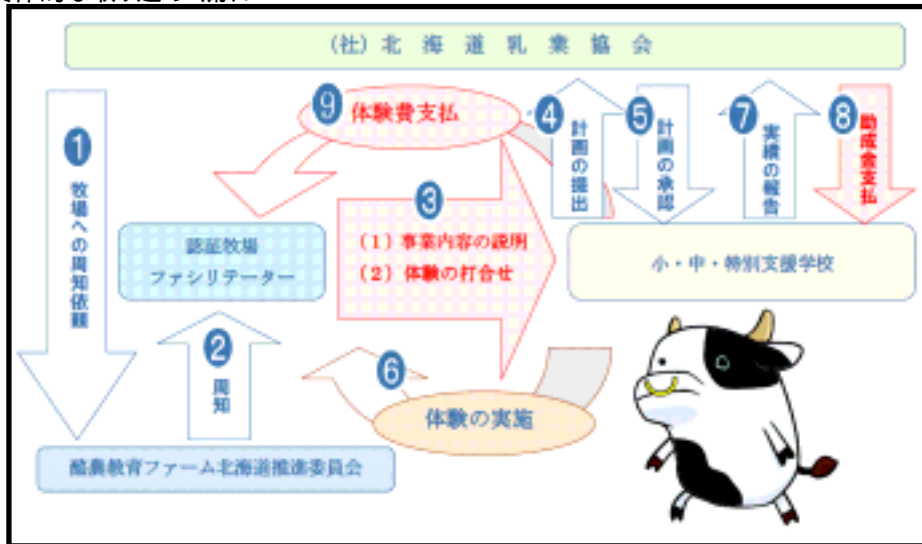
(特別支援学校においては、保護者及び介助者も対象とする)

対象となる経費... 体験学習費(1名につき1,000円以内)

ファシリテーターによる学校への出前授業(1回あたり5,000円)

助成額...1学校あたり20万円までを限度とし、単年度の助成総額は概ね120万円とする(基本、1牧場1校とする)

具体的な取り進め・流れ



- 1.あくまでも学校に対する支援です
- 2.助成額には上限がありますので、詳細をご確認下さい

事業のお問い合わせ先

(社)北海道乳業協会

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目酪農センター4階

TEL: 011-251-2561 FAX: 011-251-2581 担当: 小笠原さんまで

～今年度の皆様のお声から～

今年度、事務局通信アンケートで受け入れ体験談をお寄せ下さった中から一部をご紹介します。道内各地のあの牧場この牧場では、どんなエピソードがうまれているのでしょうか...?

牧場体験をしに来たお客様が運よく仔牛の出産に立ち合い、命名をし(女子サッカー優勝時で『なでしこ』ちゃん)、その後再度訪れ、牛の成長をご家族で楽しみにして下さっているのがとても嬉しかったです。

明郷 伊藤牧場(根室市)塩津さんより

うちには沢山の子どもたちは来ませんが...体験の最初にうちにいる動物をB5の大きさの写真に収めて1枚ずつ出していきます。ポニー、山羊、ウコッケイ、犬、ネコ、牛...と、最後に「とってもかわいい動物がいます」と言って夫のドアップの写真を出すと、子どもたちは爆笑してくれますよ!

広瀬牧場(帯広市)広瀬さんより

大津牧場(瀬棚町)大津さんより

地元の小中学生を対象にした体験の時には畑から出土した土器や石器を使い、あるいは防風林、馬頭さんの祠を使って、自分の住む牧場の歴史を話すことも多い。

皆さんの貴重なエピソードやご意見等、今後ご紹介していく予定です。

ほうし 事務局放恣雑記

最近、娘の様子がおかしい。私が北海道農業について熱く語っても、どこか上の空で心ここにあらずといった様子だ。まさか、どこの「馬の骨」とも知らない男に恋でもしているのではないかと。そう思い注意深く観察していると、ふとした時に垣間見せる愁いを帯びた気品のある表情は、まさに深窓の令嬢といった風采ではなからうか。娘の成長を喜ぶ半面、思いのほか早い親離れに胸が締め付けられる。せめて「牛の骨」なら良いかなと頑固親父の様相を早くも拭い去ることにした。今夜はひとりめで祝い酒だ。娘は今月で1歳6カ月になる。

来年度もよろしくお願ひ致します！！

今年度より発行の事務局通信ですが、お蔭様で5号を数えることができました。1年間ありがとうございました。来年度も会議や研修会の内容をわかりやすくお伝えできるよう工夫して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します！

事務局通信アンケート

(平成 23 年度 第 5 号)

今回のお便りはいかがでしたか？今後の活動内容や掲載内容をより充実させていくため、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

以下のお好きな欄にご記入の上、FAX でご返信下さい。

牧場名
と
お名前

1. 掲載内容についてご感想やご意見、ご要望がありましたらご記入下さい。(こんな内容を書かせてほしい、こんな情報がほしい等)

2. 皆さんの牧場自慢や教育ファーム活動の体験談、オススメのプログラム等ありましたらご記入下さい。

ご返信先

酪農教育ファーム北海道事務局

FAX : 011-241-6778

TEL : 011-218-6023

3. 来年度の推進委員会主催の活動について、こんなことをやってみたい、ここで開催してくれたら参加できるのに等、ご意見、ご要望がありましたらご記入下さい。参考にさせていただきます。

4. その他、酪農教育ファーム活動や事務局へのご意見等自由にご記入下さい。